

## 7866 フィールドワーク(台湾のビジネス・デザイン探索とツーリズム) に参加して

学籍番号：18B091

名 前：趙 鵬寧

### 【フィールドワークでの体験と学んだこと】

#### 1. 出発前の準備は重要

インターネットの情報は全部ではない軽便な荷物、時間を効率化するための計画、当地で情報を入手するなどのことの大切さを分かった。軽い荷物は便利で、長距離にも負担がかからない。そして、合理的な計画は時間を節約します。フィールドワークで一番大切なのは時間内で、どうしたら効率的に目的を達成するを事前によく考える価値があると思う。当地にインターネットで調べにくい情報を入手することで、当地の文化を体験することが可能です。



#### 2. 外国語を身につけることが重要

この度の目的先は台湾で、中国語が通じることは幸いです。言語が通じるため、外出する時も困らずに交流でき、ワークショップの時もしっかりコミュニケーションを取って、グループメンバーの意見を合わせて、不便など一切ないです。今の時代では翻訳アプリなどの便利なソフトウェアがあるだが、言語を身につけるより効率ではなく、意思も完全に伝達することも保証できないため、外国語を学ぶ価値があると思う。

#### 3. ビジネス活動は簡単ではない

台湾の学生たちとワークショップに参加し、力を合わせて新たなブランドを設計することができた。差別化戦略を主に、新ブランドのマークまで設計したが、不足なところを感じた。専門知識が不足のため、問題を見つけても解決できず、新ブランドの経営戦略は説得力がないと思う。ビジネス活動はやればできる事ではないことが分かった。

#### 4. 自分の状況を報告すべき

フィールドワークに参加し、担当の先生は責任者であり、先生によく自分の状況を報告することが必要である。自分自身が問題なしと想着いても、他人は状況がわからないため心配になる。他人の立場で問題を考え他人に心配させないため、よく状況報告が必要だと思う。

### 【台湾の学生との交流】

台湾で3つの学校の学生たちと交流し、台湾の人たちの熱情を確実に感じた。台北から台南まで、どこの人でも親切に案内してくれて、台湾についてのことを話した。中国と政治的な問題があるが、お互いの観点を尊重し、台湾の友達を作った。メディアから受けたイメージと違って、台湾の人たちの本当の気持ちをわかるようになった。最初の学校は日本語専門のため、学生たちは全て日本語話せる。その中に自分より日本語が上手な人が大勢いることが驚いた。

異質力で、輝く。和光大学





お互いに連絡先を交換し、共に日本語の勉強をすることがとても有意義です。最後に高雄でワークショップをした。「タピオカミルクティー」中心テーマとして、新ブランドを設計する課題をつくった。向こうは設計を専門とする大学のため、学生たちが才能があり、新たなブランド設計する時いろいろ勉強させた。情報収集に台湾の「タピオカミルクティー」市場は成熟していることを分かった。だからワークショップのすべての新ブランドアイデアがミルクティーの味を重視せず、外見からの差別化を求めた。そして「健康」「天然素材」などの言葉も多く使い、健康なドリンクを重視している。そして、外見からの設計には「五感設計」という言葉が初めて知った。視覚、嗅覚、聴覚、触覚、味覚の体験を重視し、製品を設計する。そして、自分が所属しているグループのリーダーは自分より年上、立た計画は簡明で条理があり、グループメンバーである自分がやるべきことは何がはっきりわかっている、見習いべきだと思う。

【全体の感想】

今回のフィールドワークに通じて、最も貴重な収穫は改めて自分の欠点を認識させた。そして、能力がもたらす満足感も感じた。8日間のフィールドワークは一瞬で終わったような感覚です。8日間は充実に、嬉しいことも悲しいこともあり、豊かな毎日を送った。飛行機に乗った時の楽しみ、到着した後の親切感、初めて発表する時の緊張感、全てが記憶に強く残った。言語が通じるため、時々翻訳役を担当し、責任の重さと人を助ける楽しさをわかった。将来、人を助けるため自分の能力を鍛えたいと思う。今度は中国語が通じるころへ行ったら、言語の問題はなかったが、将来他の国へ行くために英語力も身につけるようになりたいです。

#### 【その他】



8日間に三つの学校を訪問し、コミュニケーションを取りながら学習できた。その他、台湾のタピオカミルクティー市場の成熟さに驚いた。商売を文化になり、ビジネスと同時に文化を宣伝することも可能であった。中国も伝統文化が様々あり、「タピオカミルクティー」と同じように流行になれるものがあるかと考えすべきだと思う。今回のワークショップは大切なビジネス経験を積んで、将来にビジネスをするときに役に立つと思う。

異質力で、輝く。和光大学

 和光大学